

標 題 : Longitudinal changes in Mediterranean diet and transition between different obesity phenotypes.
地中海食事の縦断的な変化と 種々の肥満表現型間の移行

著 者 : J. Konieczna, et al. (スペイン University Hospital Son Espases
Instituto de Investigación Sanitaria Illes Balears (IdISBa))

掲 載 誌 : Clin. Nutr. 2019 Apr 20. pii: S0261-5614(19)30157-8.
[Epub ahead of print] [発行に先立つ電子出版]

要 旨 :

背景と目的 : 肥満表現型の発生における特定食事パターンの影響については、ほとんど知られていない。

伝統的な地中海食事の順守の縦断的な変化と種々の肥満表現型間の移行との関連を究明することを、我々は目的とした。

方 法 : PREDIMED 試験から、心臓血管系リスクの高い高齢の男性と女性 5801 人のデータを使用した。

地中海食事の順守を、認証済の 14 点-地中海食事順守スクリーナー(MEDAS)で測定した。

代謝的健康および身体サイズの数値の同時組合せを使用して、参加者を 4 つの表現型の 1 つに分類した : 代謝的に健康と異常な肥満 (MHO と MAO) 、代謝的に健康と異常な非肥満 (MHNO と MANO) 。

5 年間追跡中の毎年繰り返し測定によるコックス回帰モデルを、マルコフ連鎖の仮定で用いて構築した。

結 果 : 地中海食事順守スクリーナーの各 2 点上昇は以下の移行と関連した : MAO (代謝的に異常な肥満)の参加者で、MHO(代謝的に健康な肥満)になりやすさが 16% (95%CI 3-31%)高く、MHO の参加者で MAO になるリスクが 14%(3-23%)低く、MHNO(代謝的に健康な非肥満)の参加者では MHO(代謝的に健康な肥満)となるリスクが 18%(5-30%)低かった。

MANO(代謝的に異常な非肥満)の女性で、地中海食事順守スクリーナーは 20%(5-38%)高い MHNO(代謝的に健康な非肥満)になりやすさと関連したが、男性は違った (性別による相互作用の $p = 0.014$) 。

他の有意な関連は観察されなかった。

結 論 : 伝統的な地中海食事の良い順守は健康的な表現型への移行と関連し、MAO、MANO(女性だけ)および MHO で代謝的健康の改善を促進し、同様に MHNO の被験者で肥満の発生を防ぐ。

著作権© 2019年 エルゼビア社およびヨーロッパ臨床栄養・代謝学会。 著作権所有。

キーワード： 地中海食事、代謝的に異常な非肥満、代謝的に健康な肥満、肥満表現型、
PREDIMED 試験、推移確率
